

平成26年度 加茂市・南蒲原郡特別活動部 活動報告

部長 畠山 明大

1 研究主題

望ましい集団の育成を目指した支援のあり方

2 今年度の主な活動

当部会は、加茂市・南蒲原郡の小中学校に所属する職員で組織される。部員は、特別活動の研究計画のもとに実践を積み重ね、実践力の向上に努めている。今年度は、各自の日頃の実践の充実させるため、講師をお招きしてお話を伺った。

(1) 期日 平成26年8月26日(火) 9:00～11:00

(2) 会場 加茂市立石川小学校 会議室

(3) 参会者 特別活動部員18名

(4) 内容 講演会「集団育成のための教師の役割」
講師 新潟市立新潟小学校 教諭 羽田 雄偉 様

3 研修の概要

学級集団づくりの難しさと人間関係づくりの重要性を理解した。講師の実体験を中心にしたエピソードが紹介され、それをもとに教師としての役割が何であるのかを再認識することができた。キーワードとして以下の3つを確認し、今後の実践へ生かせるようご指導いただいた。

①めあての設定

「いじめを許さない学級」と「みんなが仲のよい学級」。一見、似ているように見えるが、価値・判断の基準は大きく変わる。めあてを設定する際には、「めあての妥当性」、「個々のめあてに教師がどう寄り添うか」、「お互いのめあてに何ができるか」を考慮すること。

②指導区分の認識「課題解決や予防的指導ばかりではなく、成長を促す指導を」

成長を促す指導に力点を置くために、課題解決的な指導と予防的な指導の精度を上げていくこと、成長を促す指導の幅を広げていくこと。

③望ましい集団活動のポイント「“孤”を“個”へ “衆”を“集”へ」

「孤独」ではなく「個人」が輝ける学級。「群衆」ではなく「集団」としてまとまりのある学級を目指す。理想は「そんなことしていると先生に言うよ。」から「そんなことしているとみんなに言うよ。」と言える学級。

羽田先生の講演を通して、特別活動とはどのようなものなのか、その中で教師がどのような役割を果たすべきなのかを確認し、特別活動について深く考える貴重な場となった。

4 成果と課題

学級づくりおよび人間関係づくりにかかわる具体的な考え方や手法を、小・中学校部員で共有することができた。会員からは、多くの気づきや学びを得られた有意義な研修会だったという感想が多く寄せられた。今後も会員の必要感に応じた研修内容を検討し、実践力の向上を図りたい。また、小中連携の視点から実践の成果を共有する場を設定したい。